

浜松駅周辺 改良基本構想



北口



南口



浜松市
HAMAMATSU CITY

1 浜松駅周辺改良基本構想とは

はじめに

JR浜松駅の駅前広場は、完成後約30~40年が経過したことにより、ユニバーサルデザインへの対応、送迎レーンのピーク時混雑緩和、駅南地下駐車場の有効利用、そして交流促進等の機能付加が必要となっています。

このため、駅前広場及びその周辺を「浜松駅周辺」と位置付け、今後必要とされる機能更新の方向性について検討し、「浜松駅周辺改良基本構想」としてまとめました。

都心づくりの進め方

浜松市の都心については、様々な取り組みを進めています。

この取り組みの内、都心の交通に係るものとしては、「歩いて楽しめる回遊性の確保」を目指し、「JR浜松駅周辺の施設の改善」、「安全で快適な歩行空間の創出」や「都心への公共交通によるアクセス向上」等を進めています。

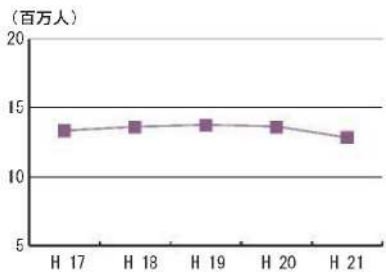
特に「浜松駅周辺」の交通については、多くの方々が徒歩、自転車、鉄道、バス、タクシー、マイカーで訪れることから、歩行者の回遊性・安全性、鉄道やバスの利便性、道路の円滑性等の向上が必要となっています。

これらのことから、「浜松駅周辺」の交通結節点機能や交流機能等の向上を目指します。

駅前広場やその周辺の状況は？

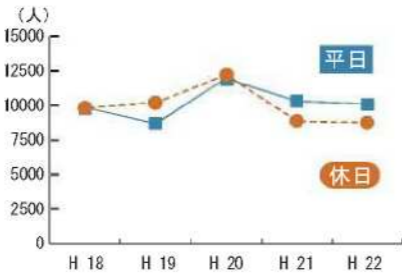
鉄道利用者数

JR浜松駅の利用者数(乗車人数)は、年間約1,300万人です。近年の推移をみると、大きな変化は見られず、横ばい傾向となっています。



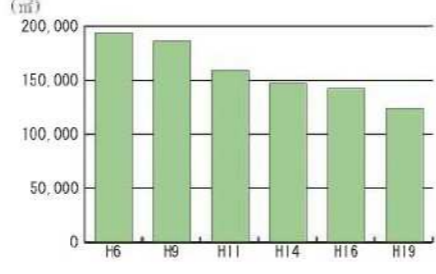
歩行者交通量

北口送迎レーン西側の通路は、年によって増減がありますが、一日約10,000人前後の歩行者交通量で推移しています。

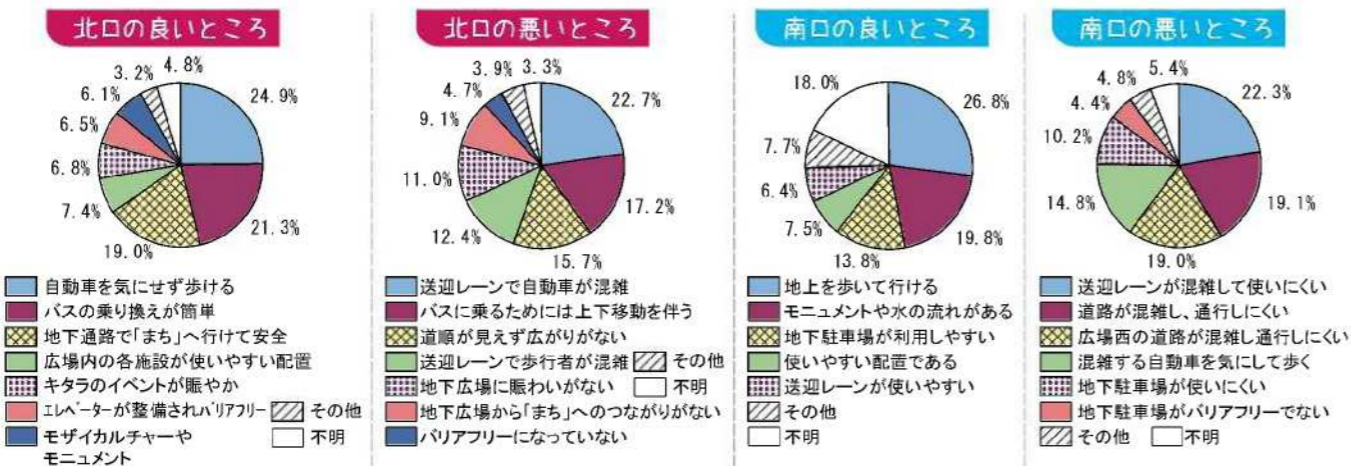


商業施設の推移

浜松駅周辺には、多くの商業施設がありますが、都心部における売り場面積の推移は、近年減少傾向となっています。



市民アンケートより



駅前広場やその周辺について一緒に考えてみましょう！

今、駅前広場は…

歩行空間

- ① 駅⇄鍛冶町方面を結ぶ主要な歩道には、狭い箇所があり、駅前広場との連続性が高くありません。
- ② 送迎レーン周辺は、歩行者、自転車、送迎レーン利用者で混雑しています。



地下通路、地下広場

- ① 地下通路は、通行機能のみで賑わいに欠けています。また、バリアフリー対応が十分ではありません。
- ② バスターミナルと駅及び周辺施設は、地下通路により最短距離で連絡していますが、上下移動が必要です。
- ③ 地下広場は、憩いや賑わいに欠けています。



送迎レーン

- ① 利用者の多い時間帯には、送迎車両の滞留により混雑しています。



道路

- ① 道路上で送迎が多く発生しています。
- ② 道路の合流部では、混雑が発生しています。



駅南地下駐車場

- ① 駐車スペースの多くが機械式のため、駐車手順の煩雑さにより使い勝手が良くありません。
- ② エスカレーターはありますが、エレベーターが無いため、バリアフリーになっていません。
- ③ 送迎利用が多くありません。



将来に向けて…

駅前広場と「まち」の回遊性を向上させます。

使いやすく、賑やかにします。

混雑を緩和します。

自動車交通を整流化し、円滑にします。

使いやすくし、送迎利用を増やします。

北口

南口

2 浜松駅周辺の将来像

「駅前広場の機能」と「都心の商業空間や文化・歴史・観光の軸」とを整合させるとともに、北口と南口の駅前広場を一体的に捉え、適切な機能分担を進めます。

将来の整備方針 都心の賑わいの創出・維持を支える「駅前広場」と「まち」の連続性の向上

- 駅前広場から周辺施設、さらに「まち」へとつながり、ユニバーサルデザインに対応した歩行空間の確保を進めます。
- 公共交通（鉄道、バス、タクシー）への乗り換え機能を更新します。
- 様々な取り組みを効果的に進めていくため、民間の活力・知識・経験を活用します。

北口駅前広場の 将来の整備方針

歩行空間の拡大

- 駅前広場及び周辺施設が創出している「賑わい」の「まち」への拡大を図ります。

南口駅前広場の 将来の整備方針

自動車交通混雑の緩和

- 砂山菅原線、砂山17号線、送迎レーンの混雑緩和を図ります。

魅力ある市街地景観

都心にふさわしい風格のある市街地景観を形成します。

人々が集い、憩い、賑わい、音楽や歴史が薫る景観を形成します。

歩行空間・交流空間

浜松駅周辺の機能として最も優先し、円滑に回遊でき、様々な交流活動・イベントが開催できる空間とします。

周辺施設と一体的な空間づくりを進めます。

送迎レーン

北口及び南口にて円滑に利用できるようにします。

利用が多い時間帯の混雑については、送迎スペースを増設し、混雑の緩和を図ります。

浜松駅周辺の自動車交通流の円滑化に向けて、送迎レーンの効率的な運用を図ります。



バスターミナル

北口にて路線バスの円滑な運行を確保します。
路線バス乗降場と歩行空間や周辺施設とのつながりの改善を図ります。

大型バス乗降場

他交通手段への乗り換えの利便性を確保します。
自動車交通流への影響を考慮の上、駅前広場区域外の近接した場所への適切な配置を図ります。

タクシー乗降場・プール

乗降場は、北口及び南口にて行き先別の運行や、鉄道利用客の利便性を維持します。

浜松駅周辺の自動車交通流の円滑化に向けて、タクシープールの効率的な運用を図ります。

駅南地下駐車場

機械式駐車装置の撤去等により、「使いやすい駐車場」へ改良します。

短時間の駐車料金無料化により、送迎利用を増やします。

3 今後の進め方

本構想の実現に向けて、浜松駅周辺の将来像や整備方針、各施設の改良の方向性などを広く市民の方々へ公表し、以下の取り組みを進めます。

それぞれの取り組みは、

- ・短期的に実施する必要がある取り組み
- ・中長期的に市民や関係者の意見を集約し、協議、調整がまとまったものから順次実施していく取り組み

とします。

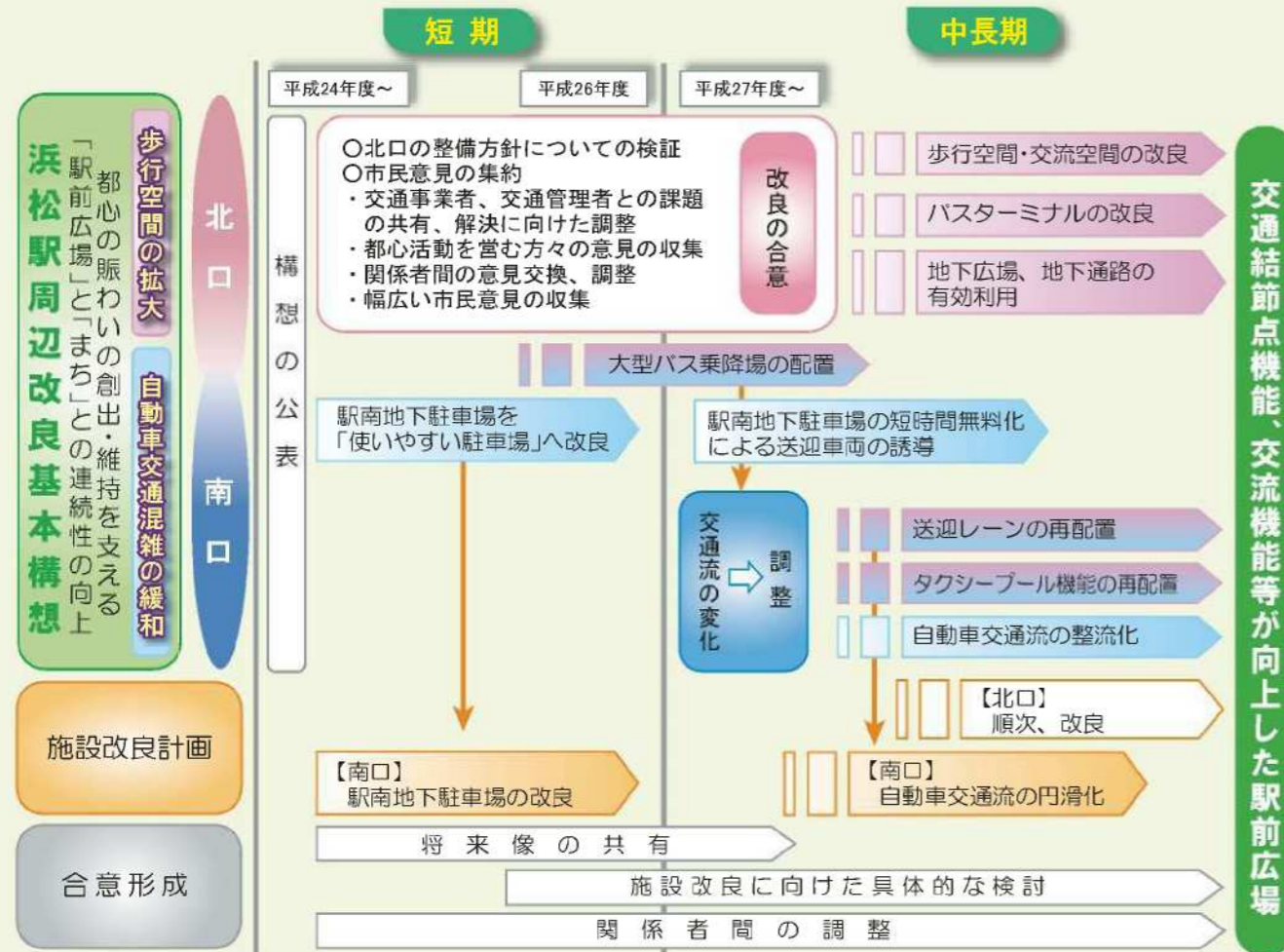
北口駅前広場における取り組みは、整備方針についての検証とともに、市民意見の集約を行い、北口の改良について合意した後に施設改良に向けた具体的な検討へと移行します。

南口駅前広場においては、「自動車交通混雑の緩和」が必要となっています。

このため、短期の取り組みは、平成26年度までに駅南地下駐車場を「使いやすい駐車場」へ改良し、平成27年度からは短時間駐車を無料化することで駅南地下駐車場へ路上の送迎車両を誘導します。

そして、中長期には、短期の取り組みによる自動車交通流の変化を確認しながら、送迎レーンやタクシープール機能の再配置、自動車交通流の整流化等について関係者の方々と調整し、「自動車交通混雑の緩和」を図ります。

以上の取り組みを円滑に進めていくためには、市民や関係者の方々と将来像について協議し、合意形成を進めていくことが必要と考えています。

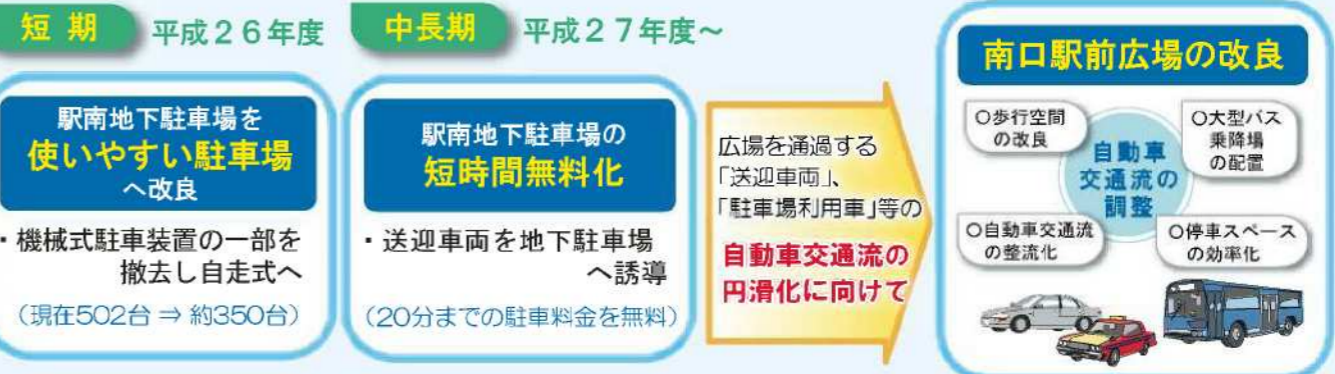


南口駅前広場の改良のイメージ

自動車交通混雑の緩和を目指して

- 短期的には、平成26年度に「駅南地下駐車場」を改良します。
- 平成27年度に駅南地下駐車場を「短時間無料化」します。
- その後、自動車交通流の変化を確認しながら「送迎レーンの再配置」、「タクシープール機能の再配置」、「自動車交通流の整流化」等について関係者の方々と調整し、自動車交通混雑の緩和を進めます。

改良の進め方



大型バス乗降場の配置 ・ 低利用な「民有地」または 安全が確保された「公共用地」や「道路」





【発行】平成24年7月
浜松市都市整備部交通政策課

住所：〒430-0946 浜松市中区元城町216番地の4 ノースタービル浜松8階

tel. 053-457-2441 fax. 053-457-2345
Email : kotsu@city.hamamatsu.shizuoka.jp
<http://city.hamamatsu.shizuoka.jp>



リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。